



第100号

令和4年(2022年)

8月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

こが市議会だより 100号記念

市議会だよりこれまでの取り組み 差し込み



第2回定例会

主な審議・補正予算、賛否一覧、陳情———— 2～3p

令和3年度 政務活動費 使途報告———— 4～6p

こが聞きたい! 一般質問———— 7～12p

常任委員会報告———— 13～15p

特集:こが市議会だより 100号記念— 差し込み

写真:ラブアース・クリーンアップ2022

古賀市議会



34号
議案

専決処分 古賀市税

条例の一部改正

第73条の3

(固定資産課税台帳に記載されて
いる事項の証明書の交付手数料)

DV 被害者等の住所が固定資産課税台帳の閲覧・証明書の交付を通じて第三者に漏れる可能性があることから、申し出により「住所に代わる事項」を記載することができる。

施行期日 令和4年4月1日

35号
議案

専決処分 古賀市国民健康保険税

条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行令等の一部を改正する政令が令和4年3月31日に公布されたことに伴い、古賀市国民健康保険税条例の一部を改正。

国民健康保険税の基礎課税額に係る

課税限度額 63万円→65万円

後期高齢者支援金等課税額 19万円→20万円

施行期日 令和4年4月1日

主な
審議

第2回
定例会
(6月8日～6月24日)

主な審議・補正予算

本会議
賛成全員
承認

36号
議案

古賀市立学校体育施設開放の 管理運営に関する条例の一部改正

市立中学校の運動場、体育館、運動場ナイター施設、テニスコート、武道場、野球場の日曜解放を進める。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

38号
議案

古賀市国民健康保険税条例の一部改正

コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる場合等における国民健康保険税の減免措置について、令和4年度も引き続き実施。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

41号
議案

工事請負契約の締結

令和4年度古賀北中学校管理棟他大規模改造工事について、一般競争入札により、香椎建設株式会社と工事請負契約を締結するもの。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

42,43号
議案

古賀市固定資産評価審査 委員会委員の選任

吉田 稔徳 氏 (再任)

佐々木 哲 氏

本会議
賛成全員
同意

陳情

4年陳情5
沖繩を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

陳情者

辺野古を止める!

全国基地引き取り緊急連絡会

里村 和歌子

4年陳情6

福岡地方裁判所令和2年(ワ)第69号福岡高等裁判所令和3年(ネ)第906号損害賠償請求事件のかていにおける、別途、いしやりよう請求に関する陳情

陳情者

渡邊 浩章

4年陳情7

最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

陳情者

福岡東部地区労働組合協議会

議長 安武 フトシ

4年陳情8

加齢性難聴者への補聴器導入に公費助成制度の創設を求める陳情

陳情者

全日本年金者組合古賀支部

支部長 花田 邦彦

39号議案 40号議案

新型コロナウイルス感染症および燃料費・物価高騰に対応する取り組み

39号議案 令和4年度古賀市一般会計補正予算 **6億5,100万9千円の追加**
 40号議案 令和4年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（区分移動のみ）
 歳入 国民健康保険税 **1,848万円減**
 県支出金 **672万円増**
 繰入金 **1,176万円増**

本会議賛成全員可決

第2回定例会
 補正予算
 (6月16日・24日)

補正予算
 ピックアップ

市内運送事業者等への支援策 1億7,850万円

コロナ禍で燃料費高騰に直面する 市内運送事業者等への支援策

令和3年10月から令和4年7月までの間の4カ月間について、燃料費1リットル当たり10円の補助。

補正予算
 ピックアップ

市内タクシー事業者への支援策 2,228万7千円

コロナ禍で燃料費高騰に直面する 市内タクシー事業者等への支援策

妊産婦および市内飲食店でのキャッシュレス商品券利用者に、タクシーチケットを交付。
 (妊産婦) 1人当たり2万円分。
 (飲食店利用) 利用額2,000円ごとに500円分。

補正予算
 ピックアップ

小中学校給食材料費補助金追加 4,120万6千円

コロナ禍で物価高騰に直面する 子育て世帯の支援

給食費値上げ抑制のため、小・中学校、保育園等に前年度と本年度の給食材料費の差額分の補助。

補正予算
 ピックアップ

その他の取り組み

- ・「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の追加。 **9,693万5千円**
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのワクチン接種委託。 **6,106万円7千円**
- ・基本構想の実現に資する市民意見を聴取するための参加謝礼等の追加。 **94万7千円**

令和4年 第2回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期: 令和4年6月8日～6月24日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
34	専決処分（古賀市税条例の一部を改正する条例の制定）	承認	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	専決処分（古賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定）	承認	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	古賀市立学校体育施設開放の管理運営に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	古賀市税条例等の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	古賀市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	令和4年度古賀市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	令和4年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	工事請負契約の締結（令和4年度古賀北中学校管理棟他大規模改造工事）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

コロナ禍でも 政務活動費を活かし 調査研究

※掲載している内容は、議員または会派で報告したものです。

松島 岩太

自由クラブ

農林水産省内会議室において

令和4年3月30日

農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち農山漁村発イノベーション等整備事業（R4予算額97億5200万円の内数）は農産加工物・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援するとあり、グリーンパーク内コスモス館の利活用に当てることは可能かを研修した。

福崎 トビオ

自由クラブ

「第5次古賀市総合計画について」の活動報告書を作成し、手配りで戸別配布しました。他に、市議会だより作成に關してのプリンターインクカートリッジ、FAX受信兼文書作成用コピー用紙を購入しました。



中野 敦史

自由クラブ

議会の報告および、地域のニュースや自身の活動、お知らせ等をまとめた活動報告書（あつし TIMES）を作成し、郵送および手配りしました。配布の際、市民の皆さんや市内の各事業所より情報収集し、相談や要望も併せて承り、問題解決に向けた活動や、意見交換会を開催するなどの活動を行いました。

渡 孝一

自由クラブ

事務用品（コピー用紙、プリンターインクカートリッジ）を購入しました。

内平 晃二

自由クラブ

政務活動費は不使用。

結城 弘明

無会派

地方議会研修会（議員発言権）

令和3年8月19日

議員には市民代弁者とし、発言の自由が保証されている。しかし活発な質問や質疑に労力を有するため議員間に回数格差が生じ、某町議会では5年間一般質問がなく議会が追認機関化等の問題指摘がある。古賀市は開かれた議会の一環により、多くの一般質問が行われ、傍聴やモニターによる市民向けの発信をしている。





報告と対話のつどい（1月30日）

東口等の情報を積極的に提供

「課題が分散し内容が吟味できない」、「市民の差し迫った声が反映されていない」等々の厳しい指摘がありました。基本構想の質疑や議会提言に反映させました。

森本 義征 友和

清原 哲史 友和

奴間 健司 友和

第5次総合計画基本構想議決前に市民と対話のつどい開催

会派・友和は基本構想議決前に市民の意見を聴きました。

市民に十分説明しないまま千鳥苑を移転・廃止の対象にあげる。2億円を越す公金を投入する薬王寺の快生館。こんな状況のもと、積極的に情報を伝え、直接対話の機会を作ってきました。

ライブ配信などオンラインを活用しました

「報告と対話のつどい」についてフェイスブックのライブ配信やZoomを活用しました。

政務活動費は会場費や通信費、更に各自の広報活動等に活用しました。

会派・友和の主な活動

- ①「報告と対話のつどい」…第5次総合計画基本構想議決前に市民の意見をお聴きしました(11月14日)
- ②「千鳥苑問題勉強会」…千鳥苑の移転・廃止案について地域の皆さんと情報交換しました(11月26日)
- ③「報告と対話のつどい」…12月定例会の報告、薬王寺の快生館や駅東口について意見交換(2022年1月30日)

古賀 誠視 市民クラブ

議会活動を報告

ホームページを開設して取り組んだ活動内容を掲載し、市民や地域の皆さまと情報を共有し、議会活動につなげた。

古賀せいしの議会活動報告を作成し、地域の行事報告や取り組んだ議会活動を市政報告として地域の皆さまへ戸別配布を行い報告した。

活動報告書を活用し、地域の会合などで報告を行った。

村松 謙二 市民クラブ

地方議員研究会

福岡市 令和3年7月27日 「質問作成・応用研修」を受講。政策提案を行うには、課題を認識してもらい、共感を得ること。

福岡市 令和3年12月23日 「財政関連質問のポイント」を受講。決算カードの見方や財政の健全性、施策の効果と改善などを学ぶ。

福岡市

令和4年1月20日～21日

「交通崩壊を防げ！WITHCORONAにおける地域公共交通」を受講。公共交通は、移動手段だけではなく、医療・福祉・商業・教育・まちづくり・コミュニティなど様々な施策と関連がある。

紙谷 由香 市民クラブ

引きこもり支援の多様性と

今後の課題

令和3年 11月2日 急激な社会変化と背景要因の複雑化・深刻化がもたらす引きこもりへの「従来型」支援の限界と対策の困難性についていかにアウトリーチ的な関わりが必要であるという事を再確認しました。

定例会ごとに、「かみや由香広報室」を作成し個別配布しました。

田中英輔 山海会

議会活動に必要な知識、社会動向、課題を知るために必要な資料を購入しました。

議会開催ごとに議案の内容

審議経過や課題などをわかりやすくまとめ、議会報告を発行、市民へお届けしました。

また、この議会報告を基に市民からの意見交換に活用しました。

この他、事務処理に必要な事務用品を購入しました。

伊東洋子 山海会

子どもをみるまなざしを豊かにする連続講座 全5回

学童指導員・子どもにかかわるすべての人を対象にした連続講座に参加し、多くの学びがありました。

その他に議会後、議会報告ニュースを作成し、配布ボランティアの協力を得て市民の皆さんへお届けしました。

また、議会活動に必要な書籍や事務用品を購入しました。

井之上豊 公明党

全国市町村議会議員研修

第1回「防災と議員の役割」

滋賀県大津市

令和3年4月22日～23日

全国地方議会サミット

(改革から変革へ・デジタルで議会が変革する)

東京都早稲田大学

令和3年7月7日～8日

平木尚子 公明党

「メンタルヘルス・ファーストエイド」の研修に参加

志免町 令和3年7月17日

こころの不調を抱える人に対する早期支援のための心の応急処理を学ぶ。

※資料購入

メンタルヘルス・ファーストエイド

吉住長敏 無会派

柳川市古文書館へ

令和3年4月29日

古文書館が所蔵する薦野増時の直筆古文書の閲覧解説による増時400年取り組み研究

九州山岳霊場シンポジウム

令和3年10月31日

(太宰府天満宮) 古代山岳信仰九州北部霊場に連なる薦野城、米多城等の調査研究につなぐ。

平塚川添遺跡公園

開園20周年記念シンポジウム

朝倉市 令和3年11月21日

日常議員活動のSNS発信

竹下司津男 無会派

資料購入

○産経新聞

○月間「致知」

内場恭子 無会派

海洋プラスチックゴミを考えよう

福岡市 令和3年10月28日

日本沿岸に、年10万トン以上のゴミが押し寄せる。プラスチックゴミはやがてマイクロプラスチックとなり、海洋生物から魚介類・鳥類などを経て生物全体に悪影響を及ぼす。この除去とプラスチックの代替品などへの課題を研修した。

- ・古賀市の政務活動費は、月1万円(年額12万円)が交付されます。
- ・残金は返還し、不足分は個人負担となります。
- ・領収書(1円から)を添付した報告書を毎年提出します。
- ・詳細は古賀市議会ホームページにて閲覧できます。

※スペースの関係上、提出報告書の一部を掲載しています。また構成上、掲載順も不同です。



古賀市政務活動費 検索

政務活動費の使い道

調査研究費	視察にかかる交通費、宿泊費等	広聴費	会場費、印刷費、茶菓子代等
研修費	研修会に関する費用 (参加費、講師謝金、会場費等)	資料作成費	印刷製本費、リース代等
		資料購入費	書籍購入費、新聞雑誌購読料等
広報費	広報紙・報告書印刷・通信費等	事務費	通信運搬費、消耗文具費等

ここが聞きたい！

一般

質問

質問

高齢者世帯の問題についてどう取り組むのか	井之上 豊
①加齢性難聴者の補聴器購入に助成を ②市民体育館・千鳥苑の今後は ③西鉄宮地岳線跡地のこれから	内場 恭子
①口座振替済通知書の廃止 ②個別補助金見直し現状 ③「永遠の鐘」の復活	吉住 長敏
①地域公共交通の利便性向上の施策は ②プラスチック資源回収への対応は	古賀 誠視
①マスク着用が及ぼす乳幼児への影響 ②コロナ禍からウィズコロナへ向けて	紙谷 由香
観光・物産・情報発信機能の強化に向けた取組の現状と今後の展開について	中野 敦史
①コロナ禍、子どもたちの育ちを支える古賀市へ ②難聴特別支援学級の設置を	伊東 洋子
西口エリアの本質的再生について	福崎 トビオ
「ゼロカーボンシティ」としての取り組みは	平木 尚子
「ふるさと応援寄附制度」は、民間の知恵と営業力が必要	村松 謙二
①第5次総合計画 激動・不透明時代への対応策は ②薬王寺インキュベーション 市の将来像にどうつながるか	奴間 健司

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人30分（答弁を含みます）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます



一般質問

議員

令和4年5月13日に改正施行さ
に取組んでいく。
や関係機関と連携しながら支援
見守り支援を実施。今後も地域
確認緊急対応コール事業による
体制の強化を図る。また、安否

市長

今後とも本市の高齢化率は上昇と
見込んでいます。一人暮らしの高
齢者世帯の増加も予想される。
地域で相談できる窓口として、
包括支援センターを3カ所設
置、併せて福祉課に基幹型包括
支援センターを設置し相談支援
体制の強化を図る。また、安否

議員

高齢者の単独世帯の問題は今後
どう取り組むのか。

市長

令和3年度住民税非課税世帯に
対する臨時特別給付金を支給し
ており、生活支援につながった
と考える。またどのような相談
も断らない相談支援体制が重要
と考え令和3年度に体制を構築。

議員

高齢者世帯の生活困窮の支援に
ついてはどう考えるのか。

市長

新たな制度に対し新しく取り組
む事業はないが、一定の違反が
あった人を対象に新たに運転
技能検査が導入されたことか
ら、これまでの自動車安全運転
スクールの実施、粕屋地区シル
バーセーフティ・ドライブینگ
コンテストへの参加、高齢者を
対象とする交通安全啓発などの
取り組みを引き続き実施し、高
齢ドライバーの安全運転技術、
交通安全意識の向上を図る。

包括的な相談を受け付けるサンコスモ古賀



井之上 豊
(公明党)

答 包括的な相談支援体制が重要

高齢者の問題についてどう取り組むのか



内場 恭子

加齢性難聴者への補聴器購入補助を

答 聞こえのバリアフリーは身近な問題

議員 高齢者の軽度・中度の難聴に支援はない。補助すべきでは。

市長 難聴者の補聴器使用は有効だが、将来的な財政負担を考慮する。

議員 難聴者の補聴器使用は14%だけ。軽度・中度の難聴者への補聴器購入時の補助に取り組むべきかどうか。

市長 補聴器の意義も認識しており、高齢者福祉全体で考えていく。

議員 生活の質の向上や認知症予防、健康寿命延伸、医療費抑制にもつながる補助が必要だ。冷たい古賀市とならないでほしい。

市長 温かい、誰もが生きやすい街づくりをめざしていく。

千鳥苑・市民体育館の検討は

議員 千鳥苑、市民体育館は廃止するのか。建て直す考えはどうか。

市長 千鳥苑の建物は老朽化。建物の廃止を含め検討を始めた段階。公共施設の建て替えを一概に否定はしていない。千鳥苑は、指

定管理期間を延長し、令和10年度末まで検討し示す。

議員 市民体育館の機能や千鳥苑の福祉センター機能は得難いもの。

現状や財政状況、将来予測などを示し、将来に役立つものとして、市民とともに考えてほしい。

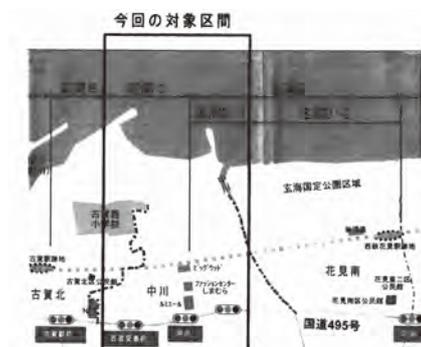
宮地岳線跡地の区境の工事は

議員 中川区と古賀北区の境界部分はどう進めるのか。説明は。

建設部長 説明会は8月頃。その後着手。

議員 市民に丁寧な説明・対話が必要。
市長 冷たい市長と思われるのは悲しい。門戸を開き市政運営を行う。

境界が接する地域住民への説明を



吉住 長敏

旧席内村役場庁舎の鐘を復活しては

答 逸品を市民に知らせたい

議員 (文化財収蔵庫の)旧席内村役場庁舎記念碑の存在価値は。

教育長 戦時中の金属供出から免れ滅失することなく現存していること。

議員 「いまおこすとき古賀」(市文化芸術振興計画)との関連は。

教育長 市民、団体、行政がそれぞれに誇りや個性を見つけ、生かし、伝え、守る計画。関係団体の収蔵庫見学がきっかけで鐘の歴史的价值が明らかになったことは計画の「宝を見つける」に位置づけられると認識する。

議員 (鐘を新たな)JR古賀駅東口ゾーンに移設してはどうか。

教育長 開発コンセプトなどを考慮する必要性から現時点では貴重な提案として承り、できれば市民の皆さんに提供、生かし伝える形を検討していきたい。

議員 鐘は人の寿命で今120歳、鐘の寿命は400年とされる。あと280年も生きる鐘を古賀市

が所蔵している意義は大きい。重要なものとして持ち続けたい。

市長 鐘は何十年も撞いていい音色がでるといふ。未来の古賀市の為に駅東口に使ってはどうか。

議員 歴史風土を伝えてくれる逸品で、鐘の音にも興味がある。気づきによる文化財活用の意義からも教育委員会と連携し市民周知を検討していく。

※その他の質問

口座振替済通知書の廃止(↓市県民税・固定資産税はその方向で調査に入る)

個別補助金の見直し現状

昭和9年、福岡県警察署移築刻銘の鐘



こが市議会だより
100号発刊にあたり
編集に携わってきた
歴代委員長との対談



これまで続いてきた「こが市議会だより」に取り組んだ歴代委員長の想いを聞く。



平成11年(第8号)～平成15年(第23号)
議会報編集特別委員会 委員長
仲道 誠明氏

町から市になり、市議会だよりが発行されることになりました。手探りでのスタートだったと思うのですが、基本とされたことは何ですか。

創刊号は、無から有を生み出す緊張の連続でしたが、完成したときの喜びは格別でした。

「市民が切望し議会として伝えなければならぬ情報とは何か」という命題を念頭に、読みやすく身近に感じていただける紙面づくりに取り組んできました。

令和元年(第88号)～
議会報編集常任委員会 副委員長
平木 尚子



平木副委員長

読んでもらうための工夫や、苦勞の中にも楽しかったことなどありましたらお聞かせください。

仲道氏

表紙写真の選択議論は真剣で楽しかったですね。
工夫としては、写真やグラフの活用で見える化に取り組んできたことです。また、興味を引いてもらえるように「見出し」の文言には、かなり気をつかいました。



平木副委員長

歴代委員長から、これからの市議会だよりの在り方についての考えなどがありましたら。

仲道氏

議会の情報発信という役割も当然ですが、「投票率向上に役立つ情報誌」という発想も必要だと思います。

若い人にも読んでもらえるために、若い人の関心の高い施策の特集を組むとか。遊佐町少年議会(山形県)のような仕組みを古賀市でも検討してはいかがでしょうか。



平成15年(第24号)～平成23年(第55号)
議会報編集特別委員会 委員長
奴間 健司氏

初代編集委員会から引き継がれ、継承しようとした企画内容や、新たな紙面づくりに挑戦しようとしたことはありますか？

議会報の創刊にこぎつけるために一緒に汗を流した故矢野順二さんのことを懐かしく思い出します。

「議会審議をありのままに」、「市民目線でわかりやすく」を継承しました。地震被害や指定管理者等について、議会の視点で特集記事を皆で頭をひねりながら執筆したことも思い出します。

令和元年(第88号)～
議会報編集常任委員会 委員
清原 哲史



清原委員

古賀市議会の情報発信ツールとして、手にしてもらって読んでもらう取り組みは何かありましたか？

奴間氏

表紙の写真は「市民」「子ども」にフォーカスし、委員自ら撮影しました。また、「議会Q&A」では議会を身近に感じてもらおう工夫しました。大きな転換点は、議案に対する賛成・反対討論や各議員の賛否一覽の掲載。注目度抜群と言っても過言ではないですね。



清原委員

これからの市議会だよりについて市民へ、また現委員へひと言。

奴間氏

議会報は議員自身で編集・発行し市民にお届けする年4回の定期便です。市民の皆さんにモニターになっていただき議会報をさらに育ててほしいと願っています。編集委員の負担は大きいですが議会報は「議会改革の鏡」です。議会の歴史、議会と市民をつなぐ役割を担っています。100号を機に議員全員で議会報を磨き上げたいですね。

これからも続いていくこが市議会だよりについて、歴代委員長の願いを聞く。



平成23年(第56号)〜平成27年(第71号)
議会報編集特別委員会 委員長
前野 早月氏

紙谷委員

71号から議会報編集「特別」委員会から議会報編集「常任」委員会に変わった時期でしたが、委員や議会内での変化はありましたか？
古賀市議会が議会改革で全国的に高く評価された時期であり、議会内でも情報発信の機運が高まりました。開かれた議会の第一歩として、議会報の意義と必要性が再認識されたと思います。
委員の意欲と意識改革にもつながったと感じました。

前野氏



紙谷委員

100号を迎え、歴代委員長から市民の方へひと言だけでしたら。また、今後の市議会だよりの在り方へ、願いなどがありましたら。
情報媒体が多様化している中、お手元に届く市議会だよりを通じて、政治が身近な自分ごとになれば幸いです。「終わりなき広報への挑戦」を担う委員の皆さまには心からの敬意を表し、更なる発展を願っております。

前野氏



令和元年(第88号)〜
議会報編集常任委員会 委員
紙谷 由香

福岡委員長

一番長く編集作業に携わっていたことになるのですが、その時代によって編集、議会の情報発信に関する変化などはあったのでしょうか。
今の議会だよりは、私が編集委員になったばかりのころとは大きく違います。私の頃は、原稿は手書き。議会の姿を市民に伝える手法を模索していました。「読んでもらう」を基本に、文字の配置や大きさ、見やすいデザイン、写真などの多用とその変化は目を見張るものです。



平成27年(第72号)〜令和元年(第87号)
議会報編集常任委員会 委員長
内場 恭子氏

福岡委員長

関わられた期間での、誌面づくりの変化や新たな取り組みなどがありましたらお聞かせください。
紙面カラー化や議会の活動につながるアンケート調査、市民活動の紹介、QRコードの掲載などに取り組んできました。いかに市民の皆さんに関心を持ってもらい、紙面を開いてもらえるか、わかりやすいものにするため、現在は現在も進化中だと私は感じています。

内場氏



福岡委員長

歴代委員長から、市民の方へ、お伝えしたいことがありましたら。議会だよりは、議員の手作りで、議会と議員の活動を、市民の皆さんに知ってもらうツールとして、全力で編集しています。

内場氏

ぜひ読んでいただき、ご質問やご意見、ご要望などを編集委員会に寄せていただけますようお願いいたします。それが議会改革にもつながるのではないかと考えています。



令和元年(第88号)〜
議会報編集常任委員会 委員長
福岡 トビオ

創刊号から変わらない議員手づくりの現場。



議会会期中に、委員長と事務局で編集制作期間の調整。



一般質問を行った議員へ、文字数を指定して原稿依頼。



議会定例会が閉会した後、その時の主な審議をまとめる。



原稿の整理、確認など印刷前の最終チェック。



全体の構成と内容、担当の割り振りなどを委員全員で検討。



特集ページの原稿制作。(3月は予算、9月は決算審査)



各常任委員会の報告は、委員会を兼任する担当者が制作。



印刷入稿時には、担当委員が説明を行いながら入稿。



表紙写真は、その時期の市民活動などを担当委員が撮影。



賛否一覽や、次回会期日程等の元原稿は事務局が準備。



掲載される写真は、委員が手分けして撮影し用意する。



初校、2校、責了のチェックを終え印刷、納品、各戸配布。

歴代編集委員長との対談を終えた委員から。

福岡

今の私たちと同じく、「どうすれば議会活動を分かりやすく、読みやすく伝えられるのか」を模索されてきたことを理解しました。先輩方がつけてきた想いを、これからもつないでいけるよう取り組んでいきたい。

平木

歴代委員長が表紙を見ただけでその時の議会を思い出されている姿を見て、毎号真剣に取り組まれてきたことを感じました。笑顔で話された苦労話もこれからの紙面づくりに、まだまだ活かせることがたくさんあると感じています。

清原

市議会だよりの編集作業は、手間も時間もかかります。ですが、古賀市議会の情報発信ツールとして、なくてはならないものだ、歴代委員長の話を聞いて改めて感じました。手に取ってもらえる市議会だよりに挑戦し続けたい。

紙谷

私は初めて市議会だよりの制作に関わっています。原稿をまとめることだけでも精一杯。試行錯誤、無我夢中です。ですが、市民の皆さまへ、議会のことを伝えたいという気持ちは歴代委員長と同じです。これからも頑張ります！

竹下

読んでもらえる市議会だよりとは何かに取り組んでこられた編集委員の方々に敬意を表します。ネットの普及で、議会情報発信は変化していくのかもしれませんが「古賀市議会を伝える」その気持ちは変わらないと思っています。

令和元年(第88号)～令和5年(第103号) 議会報編集常任委員会



委員 清原 哲史
(総務委員会 兼任)

委員長 福岡 トビオ
(文教厚生委員会、
議会運営委員会 兼任)

委員 紙谷 由香
(文教厚生委員会 兼任)

副委員長 平木 尚子
(文教厚生
委員会 兼任)

委員 竹下 司津男
(市民建産
委員会 兼任)

事務局 荒牧 有衣

事務局

制作現場で、原稿の取りまとめや、印刷までの準備の補佐をさせていただきます。これからも議会活動を支える事務局でありたいと思っています。

※内平委員は体調不良により欠席



古賀 誠視
(市民クラブ)

青柳・小竹地区など公共交通への対応は

答 地域の声を聞き新しい公共交通に反映

議員 AIオンデマンドバスの運行工

リアに花鶴丘・日吉台区を指定した理由はなぜか。

市長 高齢化率が高く公共交通を利用

しづらい地域に対応するため。

議員 AIオンデマンドバス実証運行

の期間はいつまでか。

市長 10月から始まる運行期間は、令

和7年までを予定。

議員 病院や買い物施設などエリア外

のミーティングポイントの増設

は考えないのか。

市長 路線バスやタクシーとのすみ分

けを考慮し設定。ミーティング

ポイントの拡大は考えていない

が、運行を通じ利用実態やニ

ズの把握に努めていく。

議員 青柳・小竹地区など、公共交通

不便地域への対応は。

経営戦略課長 小竹地区では7月以降に

利用者や地域の声を聞き、新し

い公共交通に反映していく。

議員 西鉄市内バスの路線やダイヤの

変更は考えないのか。

経営戦略課長 次年度以降、路線やバス

の小型化を検討する。

プラスチック資源回収への対応は

プラスチック資源循環促進法が

4月に施行されたが市の対応は。

市長 自治体にはプラスチック使用製

品廃棄物の分別収集のリサイク

ルが求められ、清掃工場では受

け入れのための施設改修や人員

の確保など課題を慎重に協議。

議員 ゼロカーボンシティ実現に向け

今後の対応は。

市長 市民の意識向上や、プラスタッ

ク製品やごみの減量を進める。

もう待てない一日も早い利便性の確保を



紙谷 由香
(市民クラブ)

マスク着用が及ぼす乳幼児への影響について

答 乳幼児への影響の声は認識

議員 乳幼児期の対人関係の育成にお

いては何かが必要か。

市長 特定の大人との継続的な関わり

によって人への信頼感を育んで

いくことや、周囲の者や自然と

関わり、認識力を発達させてい

くとともに、子ども同士で遊ぶ

ことなどを通じて道徳性や社会

性の基盤を育んでいくことが重

要と認識している。

議員 コミュニケーション能力の土

台、基礎となる乳幼児期に、保

育士がマスクを着用した顔で何

が伝わると思うか。

子育て支援課長 本来であれば、口元を含

めた表情でコミュニケーション

を図っていくことが重要である

と思う。

議員 コロナ感染対策としてマスク着

用は必須だが、乳幼児と接する

時に口の見えるマスクは必要だ

と思うがどう考えるか。

市長 マスクが乳幼児の心身に与える

影響の可能性があると指摘する

声があることは認識している。

今、感染状況は減退している

とは言え、段階的にマスクにつ

いて、特に口の見えるマスクを情

緒面に鑑みて、どの程度なら活

用が現実的に可能かどうかを各

園とも、提起されたことを伝え

共有を図り、各園の運営につな

げていけるよう情報の発信が必

要、たろうと考えている。

※その他の質問

コロナ禍からウィズコロナへ向けて

口元の見えるクリアマスク





中野 敦史
(自由クラブ)

グリーンパーク 古賀GP周辺の拠点形成の今後は

答 2025年を区切りとしさらなる魅力向上を

議員 古賀GPとその周辺を観光・物産・情報発信の拠点形成と位置づけているが今後の展開は。

市長 GPやコスモス館に拠点として必要な機能を付加し、周辺には企業を誘致し連携体制を強化。

議員 JR古賀駅周辺と古賀GPの機能強化の連携はどのように。

市長 古賀駅とGPをつなぐ公共交通など移動手段による集客力向上や、コスモス館に集まる農産物などを古賀駅周辺で販売する取り組み。また、それぞれに集まる情報の共有と発信を民間活力を用いての連携を想定。

議員 コスモス館に対する強化策は。売場面積においては適切な広さを確保できるように検討したい。

市長 公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、必要な改修工事を実施していく。

議員 駐車スペースの確保は。観光バスや大型トラックも駐車

グリーンパークを魅力ある観光拠点に



できるような整備が必要。新たにスケートパークが設置されることにより、現スケートパークを廃止。跡地に駐車場整備を検討。2025年に開業を予定している企業との連携は。

市長 工場見学など「コト消費」ができるような構想もあり、GPの魅力向上も伴って相乗的に人が集まる地域になると考えている。

議員 多目的広場の天然・人工芝化は。魅力ある提案と思う。多様な利用方法を想定し、両芝仕様のグラウンド運営の情報収集が必要。



伊東 洋子
(山海会)

コロナ禍の子どもの育ちを支える古賀市へ

答 子育て家庭の支援と教育環境の保証を重視

議員 全国の小学校高学年・中学生の1割〜2割にうつ症状が見られたとの報告があり、古賀市でも心身の不調による不登校児が増加傾向にある。長引くコロナ禍が、子どもの心身の発達に与える影響についてどう考えるか。

教育長 コロナ禍での休校や制限された生活の影響を受け生活リズムの乱れや登校する意欲、コミュニケーション力の低下などを認識。

議員 保護者も心身に不調を抱えている家庭もあり、家庭丸ごと相談できるようスクールソーシャルワーカーを各中学校区に1人ずつ配置すべきでは。

教育部長 今年度、緊急対応で県から2人配置。状況を見て検討する。全国一斉休校中、子どもたちは学びや遊びの機会を奪われた。子どもは遊びを通じて人間性や社会性を身につける。今後、顕在化するかもしれない心と体の

議員 発達への影響を見据え、取り組みの強化が必要。
難聴特別支援学級の設置を
議員 難聴は見ただけではわかりにくい障がい。理解が進んでいない。聞こえの共生社会をつくるために理解を進める取り組みは。

議員 音や言葉を聞きとる能力や発音・発語を育てるなど障がいに応じた、教育上必要な支援が受けられるよう難聴特別支援学級の設置を求める。

子どもにも難聴がわかるアニメ動画





福崎 トビオ
(自由クラブ)

西口エリアの本質的再生の評価は

答 中心市街地の活性化が図られると期待

議員 取り組んできたことへの評価は。

市長 古賀竟成館高校との連携、まち

づくり団体の設立、地域の意識

変化を実感しており高く評価。

議員 令和4年度の計画は。

商工政策課長 テナントミックス型の拠

点リノベーションを支援。

議員 テナントミックスとはさまざま

な業種が集まる店舗か。

商工政策課長 多くの世代の交流、地域

活動にも使っていたきたい。

議員 まちづくり団体、地域おこし協

力隊の構成は。

商工政策課長 まちづくり団体の構成は

4人。地域おこし協力隊の中心

市街地活性化隊員は1人。それ

ぞれ30代後半〜40代前半。

議員 その若い世代の連携が西口再生

の鍵になるのではないか。

商工政策課長 ともに歩んでいくこと

が、にぎわいの創出、本質的再

生に向かうと考えている。

議員 まちづくりに重要なものは何か。

市長 市民とともに、よりよいまちを

つくっていくこと。

議員 今の本市の取り組み方は何か

焦っているように感じる。人づく

りは、これからも延々と繰り返し

していくものではないのか。

市長 結果を焦って追い求めてはいな

いが、行政として成果を見せる

のは責務。議員の一人づくりの

繰り返しには共感。

議員 残り1年を切った本事業に期待

をしている。

高校生が取り組んだ商店街 PR 映像より



平木 尚子
(公明党)

「ゼロカーボンシティ」としての取り組みは

答 実効性を高めること、情報収集が大事

議員 プラごみ削減につながるペット

ボトル削減に向けた、給水ス

ポットの設置についての考えは。

市長 ペットボトルの削減につながる

メリットはあるが、衛生面や市

民のニーズ、コスト等について

調査を進める。

議員 バイオプラスチック等製指定ご

み袋導入についての考えは。

市長 現在、ボランティアで清掃活動

を行う時に配布するごみ袋につ

いて、バイオプラスチック製を

導入している。一般の指定ごみ

袋についても原料の安定供給面

で課題が残っているが、今後も

調査・研究を進めていく。

議員 「食品ロス」へのさらなる取り

組みは。

市長 市のホームページ、環境パネル

展等での情報発信や啓発のほ

か、食品工業団地の企業を中心

にフードバンク団体への食品寄

贈の促進。本年度は、市民対象

に各家庭で余っている食品を持

ち寄りアイディア料理を作りな

がら食品ロスについて学ぶ「サ

ルベージ・パーティ」を開催す

る予定。

議員 学校施設のエコスクール・プラ

スへの取り組みは。

教育長 エコスクール・プラスの認定

校はないが、花鶴小・小野小・

花見小学校への太陽光発電設置

をはじめ、学校施設の大規模改

造工事の際に、LED照明、セ

ンサースイッチなどの省エネルギー

省設備の導入を行い、環境負

荷低減の推進などを行う。

夏には一段と増えるペットボトル





村松 謙二
(市民クラブ)

直近2年間の「あまおう」の寄附額は

答 令和3年度は、2年度比で約2億円の減

議員 古賀市のふるさと応援寄附金が平成29年度をピークに年々減少しているがその要因は、

市長 過当競争が自治体間でこの数年

議員 起きている。それに対し本市が現体制の中で対応できていない部分があるから、こういう結果になったと認識し、強い危機感を持っている。

議員 それは答えになっていない。減少した要因を聞いている。古賀市の返礼品で、ダントツで一番

議員 人気「あまおう」イチゴの令和2年度と3年度の寄附額実績は。

商工政策課長 令和2年度は約2億29

議員 63万円、令和3年度は約2億10万円、その差は約2億円の減である。

議員 この数字を聞いて愕然とした。

議員 この事業者に激減した要因や考え、感想などを聞いたか。

商工政策課長 寄附額減少について具体的に感想を聞いていないが、市

内にはさまざまな事業者がある。人気の返礼品をどう生み出していくか意見交換を行い、話を進めている。

議員 古賀市と糟屋郡7町の寄附額実

績を紹介するが、大変危機感を持っている。ふるさと応援寄附金に係る担当人員は何人体制か。

商工政策課長 商工政策課で3人体制

ある。

議員 ふるさと応援寄附の運用業務を

外部の民間会社に委託すべきと考える。新宮町が良い事例だ。

市長 提起いただいた内容を今年度の

内に真剣に検討し、次年度以降はどのようなあり方が良いのか、結論を得られるよう努めたい。

古賀市と糟屋郡7町の寄附額推移

(平成29年度～令和2年度)

寄附品は業界別 単位別	単位百万円 四捨五入				
期間	H29	H30	R1	R2	H29とR2の差
古賀市	976	949	891	751	-225
糟屋町	110	86	28	207	97
久山町	47	74	146	263	216
志免町	370	590	655	797	427
新宮町	1,068	2,113	2,370	3,901	2,833
須恵町	26	55	23	876	850
宇美町	19	36	254	681	662
篠栗町	2	5	33	106	104

薬王寺「快生館」一般質問で確認



奴間 健司
(友和)

薬王寺の快生館に2億円超の公金投入は疑問

答 将来必要な施設 5年で基盤を整える

議員 3年間で2億円を越す税金が投入される。一過性にならないか。

市長 社会状況変化への即応をほぼ国

議員 費でスタートアップできた。一過性にならぬようまずこの5年間にしっかり取り組む。

議員 国費を財源とした施設の改修費

副市長 や備品購入費等(有益費、約9千万円)を一株式会社に向け渡すのは問題ないか。

副市長 新ビジネス創出、移住・定住促進のために必要な投資。民間施設に投資する前提で国からの交

議員 付金なので問題ない。

議員 9千万円を放棄するなら千鳥苑

市長 的な公共施設にしたかどうか。意義は理解できるが公共施設の最適化の中で判断すべき案件。

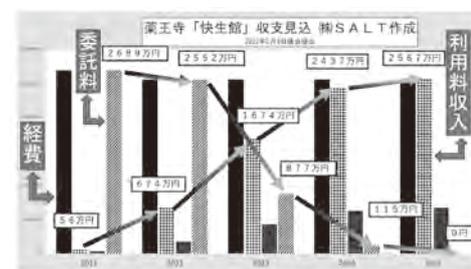
議員 5年目以降の構想がないのは出

市長 たとこ勝負ではないか。そうではない。将来必要な施設だと思っている。持続されるようこの5年間で基盤を整える。

議員 6年目以降、10年先が見通せない事業に多額の公金は疑問。市民の評価にゆだねたい。

薬王寺「快生館」これまでの予算額

年度	予算額	財源
2020	5,221万8千円	国
2021	8,543万7千円	国
2022	7,320万1千円	国 一部市
合計	2億1,085万6千円	550万円



総務

委員会

5月9日

委員長 内平 晃二
清原 哲史 吉住 長敏
副委員長 井之上 豊
村松 謙一 田中 英輔

行政DX

問 行政デジタルトランスフォーメーション(DX)が凸版印刷(株)から、古賀市に無償での提案があったのはなぜか。

答 古賀市としてはDXを進めていきたいが知見がなく、凸版印刷(株)は全国展開をしたいたが実績がないという両者の思惑が一致し、併せて事業所が古賀市にあることから、協定を締結するに至った。

問 A-1チャットボットの導入により、職員の業務負担の軽減になると思うが、全体の総括は。

答 業務も軽減されてきつつある一方、Q&Aを準備するという負担もある。よくある質問については、8割から9割は答えられているが、さらに満足度を上げたい。

デジタル推進課

地域力アップ補助金

問 公募型補助金は、3力年を限度とした事業でヒアリングを受け採択が決まっているが、その補助金もまちづくり推進課が吸収し、コミュニティ活動補助金となったのか。

答 公募型補助金は校区コミュニティ向けの地域力アップ補助金に統合した。

問 多文化共生について、自治会で、参加を呼び掛けるような働きかけはされているのか。

答 地域行事に参加を促していくかは、課題意識を持っている。直接、外国籍市民に届くような情報発信と、日本人の方から一緒に参加を促すという2つの視点が必要。外国籍市民は、技能実習生等で企業に勤める人が多いので、企業との情報の共有や提供をしていく。

まちづくり推進課

公共施設等総合管理計画

問 文化財収蔵庫の移転が6月に行われ、現施設は廃止となるが今後再利用となるのか。売却するのか。

答 教育財産となっており、どのように活用するかは教育委員会で検討。他に施設の利用がない場合は、建物を撤去し、土地を売却する可能性もある。

問 公共施設等総合管理計画アクションプランでは、市民体育館、千鳥苑、あすなる教室は廃止となっているが、だれが最終判断をするのか。

答 市民体育館、千鳥苑の機能は維持するが、機能をどうやって維持していくかについては、施設を所管している担当課が考えることになる。

問 公共施設マネジメント推進本部において議論していくことになるが、最終的に判断するのは全て市長である。

管財課

薬王寺インキュベーション

問 進出企業定着・地域活性化支援委託3000万円について、共同事業体を組織した理由、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金の活用に伴うKPIや、どのような事業を何回実施するのか。

答 進出企業定着・地域活性化支援については、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金の中の地方創生テレワークタイプを活用し、進出企業定着・地域活性化支援事業がある。この事業を活用する条件として、快生館への進出企業や福岡県内の事業者が連携関係を構築し、推進する取り組みについて交付金を活用して支援するもの。KPIについては、ワーケーションプログラム12回、コミュニティ形成のためのイベント9回、起業家育成講座等を5回開催する。

経営戦略課

文教厚生

委員会

4月22日
27日

委員長 平木 尚子 奴間 健司
副委員長 伊東 洋子 福崎 トビオ
紙谷 由香 松島 岩太

地域包括

支援センターの活用

問 公共施設を活用した相談会の展開はどうか。

答 地域で行われている活動に出向いたり、地域の施設の活用方法などを提案していきたい。

問 生活支援サービスの担い手研修の必要性と周知について。

答 宗像市、福津市、古賀市合同の研修を令和4年度も実施予定。受講者は令和2年度5人、令和3年度はなし。担い手不足については危機感を感じており積極的な周知方法を検討しながら進めていきたい。



福祉課

米多比児童館の

機能移転について

問 ニーズ調査や利用者の想定は。

答 ニーズ調査は行っていないが、古賀東中校区に設置するには、住んでいる子どもたちが多く通えるような場所の選定は難しく、色々な場所を検討した結果、現在の候補地とした。人数の想定はしていないが、乳幼児事業から中高生も利用しやすいように児童館機能を充実させ、利用者の増加につなげていきたい。

問 夜間帰宅時の安全は。

答 状況を見ながら必要な外灯やセンサーライトなどの設置を含めて考えていく。

青少年育成課

古賀市教育支援センター あすなる教室の機能

問 不登校児童生徒への対応について。

答 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーでの相談のみならず、あすなる教室、青少年支援センターや児童館などと連携しながら進めることで、不登校から復帰した児童生徒も増えている。

問 あすなる教室の機能移転について十分な環境を整備できるのか。

答 施設の面積は広くなり、学習スペース、相談スペースも確保できる予定。また、オープンカウンターキッチンの有効利用や事務スペースも確保できる予定。場所が不便ではないかとの意見がある。



学校教育課

子育て世代への新規事業

問 子どもの誕生お祝い事業について。

答 「うまれてきてくれてありがとうBOX」がたからばこ」には赤ちゃん用品とコスモス館で利用できる商品券も同封。6月から乳児家庭全戸訪問の際に配布。

問 産後ケア事業ショートステイについて。

答 市内の産科医院に委託し、出産後の母親の支援、育児相談も含めて母親の負担を軽減。

市民税課税世帯は1日あたり5000円の自己負担、市民税非課税世帯は1日あたり2000円の自己負担でショートステイを利用できる。市負担額は19000円または22000円。1日あたりのショートステイ利用料は24000円となる。1泊の費用は2日分の金額が必要。

子育て支援課

市民建産

委員会

5月11日
12日

委員長 中野 敦史
古賀 誠視 渡 孝二
副委員長 森本 義征
内場 恭子 竹下 司津男

新事業創出促進

補助金について

問 西口エリアだけに特化したものではなく、新たに支援補助金を使つての参加者、出店者をより多く呼び込む意図があるのか。

答 対象は古賀市全域で業種の制限は設けていない。新事業創出促進補助金は、福岡県が経営革新計画を承認することが条件で、県の採択を受けた人に補助金を出すようになってきている。市外から古賀市に来た場合の支援は、古賀市で新たに起業するのであれば、創業支援事業の補助金に該当するが、既に市外で店舗などを営んでいる方が、古賀市に来て開業する場合は対象外である。

商工政策課

浜大塚線

地下歩道について

問 自転車に乗つて通る人が多く、歩行者との接触が心配であるが、その対策は。

答 今後の利用状況を見ながら対策を考えていく。

問 浜大塚線高架橋、花鶴側のジョイント部分の騒音対策は。

答 年内に工事を実施したい。行政区からの信号機の新設や変更の要望書に対する回答は。

答 年度当初に交通安全施設の設置などの要望書をいただき、年度末にその内容についての回答をしている。



建設課

アライグマ防除

実施計画について

問 講習会の受講料や受講終了後に修了証などの発行はあるのか。

答 受講料は現在発生する予定はない。修了証などの発行については検討している。

問 アライグマの発生原因は。

答 自然発生ではなく、ペットが逃げ出して繁殖を繰り返して、県内に広がっている。

環境課

個人番号カードについて

問 交付率の全国平均は何パーセントか。保険証との紐づけは。

答 4月1日時点、全国での交付率の平均が43・3パーセント。4月20日時点で国保加入者の922人が保険証との紐づけの手続きをしている。

市民国保課

水に関するアンケートの報告について

総務・上水道管理係から、水道週間の取り組み、水に関するアンケートの報告がありました。また上水道係、下水道係からは令和4年度の工事箇所についての報告がありました。

問 水に関するアンケートは、令和3年度に開催した水のイベントへの来場者420人分ということだが、サンプルを取る人数としては少ないのではないか。

答 アンケート結果を何かに利用することを考えるとご指摘の通りだと思つた。

問 アンケートの中で、「水道水を直接飲みますか」との質問についての市民の回答は。

答 直接飲まないという方が多く、理由の多くはカルキ臭い、衛生的でないなどとのことであったため、今後おいしく飲む方法についての説明や啓発などが必要と思つている。

上下水道課

福岡女学院看護大学

古賀市議会にインタビュー

(保健師選択コース履修学生の「施設演習」)



大学の教育研究環境の充実」などについて双方で協力することとしているもので、毎年「議会インタビュー」という形で、お互いに研さんを重ねています。

事。肌で感じることで考える。今日のこの場が感心を持つきっかけになりました」とのお話がありました。

今回も、松尾教授と3人の学生が来られ、学生が古賀市議会について学んだ「役割・機能」「古賀市議会の体制」などについて発表。その後、「議員はどのようにして市民の声を聞いているのか」「なぜ議員になったのか」など、いろいろな疑問点について質問されました。

私たち議員も、学生の皆さんから改めてその姿勢を学ばせていただき、勉強になりました。翌日試験を控えた中で来られた学生もおり、保健師として大きく成長をされるのを楽しみにしています。

令和4年7月1日「福岡女学院看護大学(以下、看護大学)」の学生の方々とこの議会インタビューが行われました。

古賀市議会と看護大学は、平成27年にパートナーシップ協定を結び、「健康づくりについて意見交換、研修の機会」「議会の政策形成能力の向上」「看護

松尾教授からは、「保健師という仕事は、地域の中で住民と触れ合う機会をつくること、視点が変わる。場にいることによって発見したり、考えることが大

古賀市議会と看護大学は、平成27年にパートナーシップ協定を結び、「健康づくりについて意見交換、研修の機会」「議会の政策形成能力の向上」「看護



福岡女学院看護大学(事務局)
092-943-4174

第2回定例会の傍聴者は46人でした。ありがとうございます。

第3回定例会は8月30日(火曜日)開会予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



令和4年 古賀市議会 第3回定例会会期日程(案)

会期 8月30日～9月26日 28日間

日	曜	会議名
8/30	火	本会議(初日)
9/1	木	本会議(2日目)
2	金	常任委員会
5	月	常任委員会
6	火	常任委員会
7	水	補正予算審査 特別委員会
8	木	一般質問
9	金	一般質問
12	月	一般質問
13	火	決算審査 特別委員会①
14	水	決算審査 特別委員会②
16	金	決算審査 特別委員会③
20	火	決算審査 特別委員会④
21	水	決算審査 特別委員会⑤
26	月	本会議(最終日)

開議時刻は全て9時30分～

注) 会期日程は、8月25日(木)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
 (本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席ですがコロナ禍により減席しています)
 ◎請願書の締切りは8月23日(火)午後5時です。

表紙の言葉

6月12日、古賀の海岸での「フーパーズクルーリンアップ2022」には、390人の市民が参加し、542袋のごみを回収しました。

編集後記

古賀市議会だよりが発刊されて100号を迎えました。現在も見やすい分かりやすい紙面づくりにも模索していますが、試行錯誤の連続です。そこで100号の区切りの時に、歴代編集委員長の取り組みをお聞きすることで、これからの議会情報発信に何かのヒントが見出せるのではないかと考え、差し込みページを企画させていただきました。

これからも市議会だよりは進化を続けたいと思います。よろしくお願いたします。(福岡)

議会報編集常任委員会
委員長 福岡トビオ
副委員長 平木尚子
委員 清原哲史
内平晃二
竹下司津男
紙谷由香

古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。

